

林業振興について

須田 愛作 議員

質問 林道整備、市有林の間伐、造林の今後の施策は。

答弁 森林組合等と連携し補助事業を活用して、林道整備や間伐等を計画的に実施していきます。

質問 合併前に陳情した林道6288号線は総合計画に入っているか。

答弁 総合計画の中で計画

されている林道事業は赤城地区では芳が沢線と芳が沢・深山線があります。

質問 旧赤城村時代、地元

民の強い要望で開設が進められた西赤城山線は工事を休止しているが、イヌワシの調査をして利用すべきではないか。

答弁 環境アセスメントの

実施等により、事業を断念し別ルートとして路線変更されたいきさつがあり、現段階では自然環境保護の観点から整備することは難しいと考えます。

教育の問題点について

質問 携帯電話のインターネット機能が悪用した有害

情報による犯罪、いじめから子供を守るための考えは。

答弁 子供には携帯やイン

ターネットを利用する際の危険性や情報モラル等を指導すると共に各種研修会を

通して教員の指導力や保護者の意識の向上を図ります。

質問 校庭に芝生を植える

ことで地球温暖化防止、情操教育に役立つと思うが。

答弁 地球温暖化対策の方

法の一つとして研究課題とさせていただきます。

質問 各小中学校にいる技

術員の状況と、公用車の配置状況は。

答弁 技術員は1人配置、

2人配置があります。公用車も配置されている学校、ない学校があります。

いると認識しています。市民参加の方法は検討します。

質問 住民基本台帳カード

の発行枚数と活用範囲は。国の普及促進策としての財政支援を機にカードの交付手数料を無料化に。

答弁 本年5月末現在、6

69枚の発行です。カードは今後、証明書自動交付等多目的に活用していくことが可能です。無料化については、3年限りの財政支援のため、慎重に対処したい。

質問 渋川ほっとマップメ

ールの地図情報は改善を。

答弁 地図に目標物を追加

するなどの改善を進めます。

質問 テレビの地上デジタル

放送への完全移行が3年後となり、難視聴対策や共同受信施設への支援策、経済的弱者、社会的弱者への対応は。

答弁 難視聴対策と共同受信施設への支援は、国の補助制度を利用した支援を検討します。経済的弱者と社会的弱者の支援は、国の動向を見極め対応します。

行政情報化推進計画の公表を

高橋 敬 議員

質問 庁内の情報通信基盤の整備状況と地域情報化に関する現状と課題は。

「行政情報化推進計画」は

行政の透明性と市民参加の観点から公表と定期的な見直し、事後評価の実施を。

答弁 情報通信基盤の整備

は、概ね完了しています。地域情報化では、ブロード

バンドを利用できない地域の解消が課題です。同計画は市民に公表し、見直しと事後評価を行います。

質問 ホームページの利用

状況、利用満足度の把握は。ホームページからの市民参加を積極的に推進しないか。

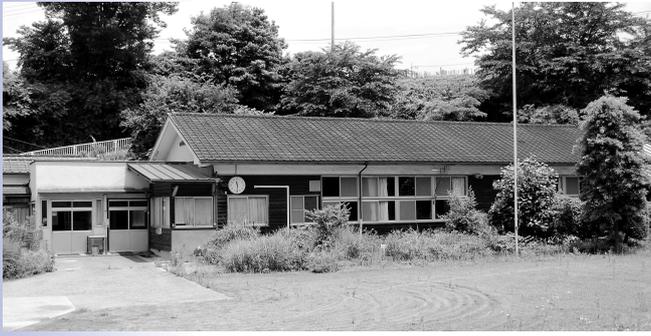
答弁 利用者は増加傾向に

あり、一定の評価を受けて



イヌワシ保護のために中断された道路

一般質問



休校中の三原田小栄分校

後期高齢者医療制度は廃止しかない

角田 喜和 議員

質問 後期高齢者医療制度は、廃止撤回してほしいというのがお年寄りの願いです。制度施行後、お年寄りに対する医療はどう変わったのか。また、後期高齢者に対する人間ドック助成制度が打ち切られた。復活の考えは。

答弁 医療費の自己負担は

変わらないが、保険料は従来の加入制度の違いによる不均衡を解消し所得に応じた公平な負担となります。人間ドックの助成は、保険者である広域連合での検討が先決であると考えます。

質問 後期高齢者医療制度の廃止が今の世論と思うが市長の見解は。

答弁 本制度は旧制度の諸課題を解消すべく施行されたもので、趣旨を丁寧に説明し市民の理解を得たい。

質問 合併特例債活用事業の総事業費は総額150億円としている。今までの特例債事業と金額は。また、今後の利用計画は。

答弁 3年間で15億6550万円となります。今後は学校給食調理場整備や防災無線デジタル化、橋りょう整備等を予定しています。

質問 現在518億円の借入金がある。後の年度に市民にツケが回らぬよう慎重に実行すべきと考えるが。

答弁 有利な財政支援であるが、活用については、財政状況等総合的に判断し慎重に対応したい。

質問 小規模工事登録事業者への仕事がないと聞く。発注量とその経済効果は。

答弁 本市は、早期に小規模工事等希望者登録制度を導入し、受注機会の拡大を図りました。今後は、実態の把握に努めたい。

小中学校の整備について

篠田 徳壽 議員

質問 老朽化した小中学校の施設整備を計画的に進めているが、財政面の事情などにより遅れてしまうのが現状です。今後の対応は。

答弁 耐震化を最優先に実施し、大規模な改修・改造については、耐震化が終了後計画を立て実施していきたいと考えています。

質問 子供たちの学習の場として望ましい環境を整備するという視点から、小中学校の適正配置についての検討はどこまで進んでいるのか。

答弁 適正配置検討委員会等を設置し、子供たちや保護者等の意向を十分に考慮し検討していきます。

質問 適正な学校規模として、通学区域の見直しが考えられるが、対応と休校にしている栄分校の今後は。

答弁 学校区・地域コミュニティのエリアを考慮し検討したいと考えています。栄分校については、入学児等の意向を踏まえ慎重に検討していきます。

公共施設の有効活用

による誘客について

質問 自然を生かした特色ある施設をアピールすることで合宿などの誘客につな

答弁 施設が比較的空いている平日の誘客について、観光協会や旅館協同組合と共に研究していきます。

質問 大学生が合宿先を探す方法として旅行会社に依頼しているが、宿泊施設・旅行会社・渋川市の3者で企画書を作成できないか。

答弁 施設が利用可能であるか否かが問題となりますが、伊香保温泉観光協会や伊香保温泉旅館協同組合などと研究していきます。

前橋市にある
群馬県後期高齢者医療
広域連合事務所

